三機工業グループ経営理念

エンジニアリングをつうじて
快適環境を創造し
広く社会の発展に貢献する

技術と英知を磨き、顧客満足の向上に努める

コミュニケーションを重視し、相互に尊重する

社会の一員であることを意識し、行動する

https://www.sanki.co.jp/corporate/philosophy/

人に快適を。地球に最適を。

CONTENTS

JPX-NIKKEI 400
2026年度選定

JPX-NIKKEI HC100
2026年度選定

三機工業は、「JPX 日経インデックス 400」および「JPX日経インデックス人的資本100」の2026年度（2026年8月31日～2027年8月30日）構成銘柄に選定されました

INTRODUCTION
- 三機工業グループ経営理念 02
- 三機工業グループのステークホルダー 05
- 三機工業グループ100年のあゆみと技術の発展 06
- 事業領域 08

価値創造ストーリー
- トップメッセージ 10
- 最高財務責任者メッセージ 16
- "MIRAI 2030"と「中期経営計画 2027」の進捗 20
- 価値創造のプロセス 24
- サステナビリティ経営とマテリアリティ（重要課題） 26
- 経営資源 30
- バリューチェーン 32

サステナビリティ
- エンジニアリングを活かした快適環境の構築
  - 建築設備事業 34
  - プラント設備事業 42
    - 機械システム事業 42
    - 環境システム事業 44
  - 研究開発 47
- 脱炭素社会への貢献
  - 脱炭素社会への貢献 48
- 新たな社会価値の創造
  - 循環型社会への挑戦 53
  - 生物多様性の保全 54
- 働く仲間の幸福の追求
  - 総務人事本部長メッセージ 56
  - 人財 58
  - サプライチェーンの取り組み 63
- 安定した収益と経営基盤の強化
  - 人権 64
  - 品質の向上 65
  - 労働安全衛生 66

ガバナンス
- 安定した収益と経営基盤の強化
  - 取締役会議長メッセージ 67
  - 対談　三機工業の次世代経営人財の育成計画を考える 68
  - コーポレートガバナンス 70
  - リスクマネジメント 76
  - コンプライアンス 78
  - 株主・投資家との対話 80

コーポレートデータ
- 財務・非財務ハイライト 82
- 11年間の連結財務サマリー 84
- 会社概要および事業所・グループ会社紹介 86
- 株式情報 88

第三者意見 89

業績の見通しなどに関する注意事項
本レポートには、当社の過去と現在の情報だけでなく、経営ビジョン"MIRAI 2030"「中期経営計画 2027」等についての目標や計画、見通し、戦略、業績などに関する将来予測が含まれています。この予測は、現段階における各種情報に基づき、当社の経営陣が判断したものであり、実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢や市場動向、為替レートなどの変動により、大きく異なる結果になる可能性があることをあらかじめご承知おきください。

価値協創ガイダンス
Guidance for Collaborative Value Creation

編集方針

統合報告書「SANKI REPORT」は、三機工業グループの経営理念に基づき、中長期的な視点でのサステナビリティ経営が、事業を通じた社会課題の解決と持続的な価値創造にいかに結びついているかを、ステークホルダーの皆さまにわかりやすく報告することを目的に発行しています。

「SANKI REPORT 2026」は、創立101年の新たな一歩を踏み出した当社の歴史や強みを踏まえつつ、将来にわたって価値を創造する力を、5つのマテリアリティ（重要課題）を基軸に財務・非財務情報の両面から訴求する内容となっています。

また、経営ビジョン"MIRAI 2030"および「中期経営計画2027」に掲げた経営目標の達成に向けた価値創造ストーリーをお示しするとともに、2026年4月からの新たな経営体制発足を踏まえ、当社が抱えるいくつかの経営課題について、取締役による対談やメッセージという形で、未来を見据えた展望や方向性を示しています。

参考にしたガイドライン等
- IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス2.0」
- GRI「GRIサステナビリティ・レポーティング・スタンダード」
- 環境省「環境報告ガイドライン2018年版」
- ISO26000

報告対象組織
三機工業株式会社および連結子会社8社を含む
「三機工業グループ」
- 非財務情報は、グループの情報を表す場合は、文中もしくは表・グラフに対象範囲を記載しています。

報告対象期間
2025年4月～2026年3月（対象期間外のものは時期を明示して記載）

レポート発行時期
2026年8月（前回発行：2025年10月、次回発行予定：2027年8月）

本レポートの位置づけ

サステナビリティ https://www.sanki.co.jp/sustainability/

三機工業グループのステークホルダー

当社グループは、事業活動を行う上で、さまざまなステークホルダーとかかわりを持っています。多様な機会を通して対話を積み重ね、ステークホルダーの皆さまからの期待や要請を把握し、積極的に事業戦略や活動に取り込むとともに、よりよい信頼関係の構築に努めています。

ステークホルダー	対話の目的	主な対話の機会・方法
お客さま ビルオーナー、不動産デベロッパー、各種メーカー、金融・保険会社、百貨店、病院、学校、研究機関等	● お客さま・社会の課題解決 ● 付加価値の高い施工・技術サービスの提供 ● 品質・納期・コスト等の顧客満足の向上	● 営業活動、打ち合わせ等を通じた対話 ● Webサイト、ショールーム ● 各種メディアを通じた情報発信 ● 展示会への出展や意見交換 ● お客さま満足度調査
株主・投資家 株主数：16,236名 （2026年3月31日現在）	● 企業価値の向上 ● 利益の安定的な還元、適切な経営資源配分 ● 企業情報の適時・適切な開示 ● 建設的な双方向の対話を通じた経営へのフィードバックと信頼性の向上	● 株主総会、株主通信 ● 決算説明会、個別ＩＲ面談・取材対応 ● Web 株主・投資家情報、SANKI REPORT ● 株主アンケート
お取引先・パートナー 施工協力会社、建設会社、資機材メーカー、ビルメンテナンス会社、大学、研究機関、設計事務所等	● 対等・公正・透明な取引関係の構築 ● 信頼関係・連携の強化 ● 労働安全の確保、労働環境の整備 ● 人権の尊重 ● オープンイノベーションの推進を通じた技術の発展、社会課題の解決	● 日常の調達活動を通じた対話 ● 協力会を通じた連携・支援 ● 企業倫理ホットライン ● 産学連携 ● 「オープンラボ」における対話
従業員 連結：2,705名 単体：2,128名 （2026年3月31日現在）	● 仕事を通じて自己成長や社会発展への貢献を実感できる職場環境の整備 ● 機会均等・公正な評価 ● 人財の育成・多様性の推進 ● 労働安全の確保、健康の増進 ● 人権の尊重	● 上長との面談・研修 ● 各種通報・相談窓口 ● 労使協議会 ● Webサイト、イントラネット ● 社内アンケート ● エンゲージメントサーベイ
地域・社会 施工現場周辺地域、事業所周辺地域、NPO、中央官庁、地方自治体等	● 社会インフラの構築 ● 地域社会への参画 ● 地域コミュニティや自然環境への配慮 ● 情報開示 ● 法規制・行政指導等の遵守 ● 納税 ● 地域防災への貢献	● 各支社・支店窓口 ● 施工時の説明会 ● 地域社会貢献を通じた対話 ● スポーツ・芸術文化の支援活動 ● 業界団体等を通じての対話